

評価シート例（年度評価）

名古屋市港防災センターの管理運営状況

1 基本情報 <所管局:防災危機管理局>

指定管理者	丹青社・コニックス共同事業体		
主な業務内容	名古屋市港防災センターの管理運営		
評価対象期間	令和5年4月～令和6年3月	指定管理期間	令和5年4月～令和10年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本 事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持 管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サ ー ビ ス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	・市内小学生全員にチラシを配布するなど積極的に広報を行った。 ・利用者へのアンケート調査では9割以上の方が防災意識が高まったと回答している。
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) 広報・PRの実施	利用促進のための取組みを実施しているか。	◎	
	(4) 接客態度	接客態度、名札、服装等は適切か。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 利用者満足度	利用者の満足度を把握し、必要に応じて対応しているか。	◎	
4 経 費 等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 収支状況	当初の予定通りの収支状況になっているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
概ね適切な管理運営がなされていた。 新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたあとも、SNSやLINEでの定期配信やオンラインイベントの開催など、現地と併せてオンラインでの防災啓発を図っている。 また、外部連携を増やし、展示やイベントなどを充実させた点が評価できる。

施設の現状

名古屋市港防災センター

施設の現状	施設概要							
	防災に関する知識の普及・啓発及び市民の防災意識の高揚を図るとともに、大規模災害発生時における災害応急活動の拠点施設とするため設置された施設です。 具体的には『地震体験室』、『煙避難体験室』、『伊勢湾台風を知る・南海トラフ巨大地震発生！の3D映像コーナー』などの体験・展示施設を活用して、防災知識の普及・啓発を推進するとともに、食糧等の備蓄庫など、大規模災害発生時における災害対応活動の拠点施設としての機能も有しています。							
	市の収支状況(千円)（5年度決算(見込)額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	56,000	0	56,000	14	76	55,910	56,000	-
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	利用者数		人	14,077	22,439	42,567	54,768	
	出張講話の開催回数		回	39	44	47	37	
	講習室等の使用状況		回	11	19	17	33	
	特記事項							
	令和5年度の利用者数は54,768人で、令和4年度の42,567人と比較すると、12,201人増となった。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等による団体予約キャンセルも少なくなかったが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、一般、団体共に来館者が大幅に増えている。 ※令和4年度評価までは施設来館者数を利用者数として計上していたが、令和5年度評価より施設来館者数と出前講座参加者数等施設外利用者数の合計を利用者数とする整理にしたため、指標の利用者数をさかのぼって修正している。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載